

### 1. 基本情報（令和5年5月31日現在）

人口	87,948人	保護率	0.17%
----	---------	-----	-------

### 2. 支援状況（令和3年度）

新規相談受付件数（人口10万人当たり）	12.9件/月				
プラン作成件数（人口10万人当たり）	1.7件/月				
就労支援対象者数（人口10万人当たり）	0.9人/月				
就労・増収率（%）	40.0%				
任意事業等の実施状況（令和5年度（予定））					
支援会議	就労準備	家計改善	シェルター	地域居住	子ども
×	○	○	×	×	×

### 3. 事業の概要等（令和5年度）

実施方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>委託（射水市社会福祉協議会）</li> <li>自立相談支援事業・就労準備支援事業も同一の事業者へ委託し、一体的に実施している。</li> <li>アウトリーチ支援員の活用やひきこもり支援と連携して実施している。</li> </ul>
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>家計改善支援担当者1名（兼務）を配置。</li> <li>支援対象者といっしょに家計の見える化を行い、支援対象者が自ら家計管理をできるように支援する。</li> <li>税や家賃等の滞納の解消や各種給付制度の申請を支援する。</li> <li>多重債務者等の債務整理を支援する。</li> </ul>
事業費	1,157千円
その他特記事項	令和2年度に「射水市ふくし総合相談センター すてっぷ」を開設し、あわせて就労準備支援事業、家計改善支援事業及びひきこもり支援推進事業を実施している。

### 4. 事業の立ち上げプロセス

#### 開始前

- 生活困窮の理由は多様で複合的であり、家計収支の全体像が見えていない相談者が多い。生活の再生には、相談者自らが生活困窮の原因や課題に気づく必要があり、家計状況の把握は欠かせない。
- 本市においても、これまで以上に相談者及びその家族に寄り添った、きめ細かな支援を実施するため、支援体制の拡充が必要であることから本事業を実施することとした。

#### 実施事業の検討・調整【14ヶ月前】

- どの事業を実施するかを検討。
- 事業効果を踏まえ、家計改善支援と就労準備支援の一体的実施を図ることとした。
- ひきこもり支援を実施するに当たり、実施方法や事業費等について先進自治体の事例を参考とした。

#### 関係部局との調整【12ヶ月前】

- 総合計画実施計画の見直しを図る中、財政部局から事業の必要性、効果や費用の詳細な説明を求められた。
- 県内事例が少なく、県外自治体の実績や事業費等について情報収集を行った。就労準備支援との一体的実施やひきこもり支援との連携など、新たな支援体制の必要性と効果等について説明し理解を得た。

#### 委託先の検討【10ヶ月前】

- 委託先については、先に自立相談支援事業を委託していた射水市社会福祉協議会への委託を検討。
- 就労準備支援事業を同時に開始することで、3事業を一体的に実施できるように、事業内容や支援員の配置等について委託先と調整を行った。

#### 令和2年4月 事業開始

#### 事業実施

- 【事業実績】  
家計再生プラン件数：4件、相談件数：10件（令和3年度）
- 【実施事例】  
家計簿をつけることにより家計管理が大事であること意識づけができたことで、毎月の支払いを忘れずに行っており、食費や日用品など支出の合計を出すことができるようになった。